

鳥獣被害対策の充実強化

取りまとめ担当課
自然環境課：内線2879
技術支援課：内線3090

県内の鳥獣被害 平成24年度

森林被害 約7.5億円(前年比 162%)
農業被害 約4.8億円(前年比 85%)

シカ、イノシシを中心に、野生動物は対策を上回るスピードで生息数、生息域を拡大し、被害は依然として深刻な状況。

H26予算額 556,507千円

一層の被害軽減を図るため、「攻め（捕獲）」の強化と、「守る」「知る」対策を総合的に推進し、地域の取組を積極的に支援していきます。
被害対策の司令塔として「鳥獣被害対策支援センター」の機能を強化します。

【捕る】

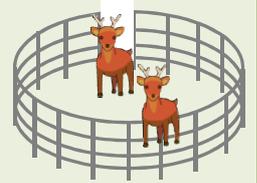
■計画的な捕獲推進:7,076千円

鳥獣被害対策支援センターに捕獲の推進を担う「企画管理係」を新設

- 特定鳥獣適正管理計画推進 5,006千円
 - ・捕獲目標の設定による計画的な捕獲推進
 - ・市町村との連携強化による捕獲支援
 - ・科学的な効果検証に基づく捕獲の実施
- 野生動物に関する専門職員の設置 2,070千円

■捕獲強化:101,068千円

- 効率的捕獲技術の開発等
 - ・農地での効率的捕獲技術の実証 18,638千円
 - ・新型くりわな、GPS利用捕獲 5,046千円
- 有害鳥獣対策補助 56,300千円
- 尾瀬や赤城山におけるシカ捕獲 13,000千円
- 捕獲の担い手確保・技術向上対策 4,169千円



(大型囲いわな捕獲実証)

【守る】

■防護対策、生息環境管理:429,667千円



(侵入防止柵の設置)

- 鳥獣害に強い集落づくり支援事業 7,142千円
 - 鳥獣被害防止総合対策交付金 130,000千円
 - 森林獣害防止対策 110,037千円
 - 小規模農村整備事業 34,568千円
 - 農山漁村地域整備交付金 134,250千円
- ほか

【知る】

■調査・研究、人材育成:18,696千円



(サル生息状況調査)

- 特定鳥獣被害対策調査・分析等 10,000千円
 - 森林剥皮被害発生分析・予測 558千円
 - 鳥獣対策人材育成事業 2,026千円
 - 鳥獣被害広域対策強化 2,069千円
 - カワウ生息状況調査 851千円
- ほか

農林業者、地域が被害減少を実感できる対策の一層強化